

2022年9月期 第1四半期決算説明会 質疑応答の要旨

2022年2月10日に開催した2022年9月期 第1四半期決算説明会(機関投資家・アナリスト・報道関係者向け)における主な質疑応答の要旨は下記の通りとなります。

Q1. 当期業績予想および3ヵ年数値について

A1. 電通グループとの提携により成長が加速する前提のもと、一定の保守性を織り込み算定している。電通デジタルについて、決算期の違いや持分法適用の立ち位置から、見通しの保守性を織り込んでおり、電通ダイレクトについては、人的投資による人件費の伸びやトップラインの伸びに一定の保守性を見込んでいる。

Q2. 人的投資について

A2. 人的投資の強化を見込んでおり、主にデジタルマーケティング事業を中心にエンジニア構成比が大きく上昇する見通しである。特に電通デジタルとの連携によるソリューション市場への拡大に向けて、エンジニアの採用、育成に注力していく。

Q3. デジタル広告市場について

A3. DX 推進からのデジタルマーケティングへの積極投資によって、デジタル広告市場全体は堅調に伸びるとみている。また、メタバースをはじめ人々の生活空間のデジタル化の波が加速しているため、消費の場がさらにデジタル上に置き換わっていくと見込んでいる。個人情報保護法の改正の影響については、当社事業に対して大きな影響はなく、データの取り扱いの意識が高まることにより、ソリューション市場の需要が高まっていくとみている。

Q4. マンガコンテンツ事業について

A4.案件の2Qへの期ずれが一部発生したため、2Qには広告収益はボトムアウトする見込みである。課金収益については計画以上に伸びを示しており順調である。また、Webtoonの市場拡大に対しての取り組みとして、GANMA!におけるWebtoonプラットフォームへの対応を完了させており、またWebtoonタイトルのIP開発を進めている。

以上